

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択
担当教員			
新井悦子			

講義概要	子どもの言葉を育む児童文化財として、絵本・紙芝居を中心に学ぶ。どのような絵本や紙芝居があるのか、集団への読み語りの方法、発達段階や目的にあった選び方など班活動を中心にグループで討議しながら身につける。各自が集団への読み語りに適切な絵本を1冊ずつ選び読み語りを実演し、最終的には班単位でおはなし会を準備、実演する。
授業計画	<p>1 オリエンテーション ・授業のねらい ・進め方 ・評価、アンケートについての説明</p> <p>2 児童文化の概要 ・言葉を育む児童文化の概要・絵本について特徴と留意点</p> <p>3 絵本研究 ・集団への読み語りについて</p> <p>4 絵本研究 ・絵本の種類</p> <p>5 絵本研究 ・子どもの発達と絵本</p> <p>6 絵本の読み語り ・読み語りの練習（小グループでの読み語りの練習）</p> <p>7 絵本の読み語り 読み語りの練習の発表（1）（紙芝居の活用）</p> <p>8 絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（2）（課題別研究）</p> <p>9 絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（3）（課題別研究）</p> <p>10 絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（4）（素話の活用）</p> <p>11 絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（5）（保育絵本の活用）</p> <p>12 絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（6）（手遊びの活用）</p> <p>13 お話会の研究（1） ・お話会の準備</p> <p>14 お話会の研究（2） ・お話会の実施</p> <p>15 お話会の研究（3） ・お話会の実施</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と教育的意義を理解する。</p> <p>②言葉の発達と絵本・紙芝居の関係について理解する。</p> <p>③子どもの発達や目的に合った絵本・紙芝居を選ぶことができる。</p> <p>④子どもの発達や目的を考慮し、適切に読み語りすることができる。</p> <p>⑤おはなし会を企画・運営することができる。</p>
教科書・参考書	テキスト：「保育内容・言葉」 太田光洋編著 岸井勇雄・武藤隆・柴崎正行監修 同文書院
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	・2回目の講義後、読み語り発表用の絵本を準備すること。読み語りの練習、おはなし会の練習が重要になる。